

# 六本木アートナイト 2010

『街の見る夢』をテーマに繰り広げられる一夜限りの饗宴  
2010年(平成22年)3月27日(土)~28日(日)  
オールナイト開催

六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴『六本木アートナイト 2010』は、東京文化発信プロジェクトの一環として、2010年(平成22年)3月27日(土)10:00から28日(日)18:00まで開催されます。

第2回目の開催となる今回のテーマは、「街の見る夢」に決定しました。“夢”は、私たちに希望と未来をもたらしてくれます。今、日本や世界は変化と再構築の時代にあります。テーマには、「そんな時こそポジティブな夢を持って明日に向かっていこう」という願いが込められています。六本木の街を多様なアートによって彩り、多くの人たちと希望に満ちた夢を共有しながら『六本木アートナイト 2010』を通じて、非日常的な世界を発信していきたいと思えます。

また、27日(土)17:58【日没】から28日(日)5:34【日の出】までを『コアタイム』とし、この時間帯にメインとなるインスタレーションやイベントが集積されます。

今回も、六本木アートナイト実行委員会の特別顧問として、建築家の安藤忠雄氏、森美術館理事長の森佳子氏が就任、実行委員長は森美術館館長の南條史生が務めます。

六本木アートナイト実行委員長 南條史生(森美術館館長)

第2回目となる六本木アートナイトは、「街の見る夢」をテーマに国内外のアーティストの参加を得て開催されます。変革の時代を迎えた日本。

その日本の「元気」と「希望」と「夢」を、六本木からアートを通して世界に発信しましょう。



## 東京文化発信プロジェクトとは？

東京文化発信プロジェクトは、東京ならではの芸術文化の創造・発信と、芸術文化を通じた子供たちの育成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団がアートに関わる様々な団体と協力して実施しているプロジェクトです。様々な芸術分野のイベントや、まちなかで市民とアーティストが協働するアートプログラム、子供向けの体験型プログラムなどを展開しています。

# 六本木アートナイト 2010 開催概要

- ◆名 称 : 六本木アートナイト 2010
- ◆基本理念 : 『六本木アートナイト』は六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木の街に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、演劇、舞踏などを含む多様な作品を点在させて、非日常的な体験を作り出します。そして、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案します。また、アートと街が一体化することによって、六本木の文化的なイメージを向上させ、東京という大都市における街作りの先駆的なモデルを創出します。東京を代表するアートの祭典として、日本のみならず世界的に広く認知されることを目指します。
- ◆日 時 : 開催時間 2010年(平成22年)3月27日(土)10:00 ~ 3月28日(日)18:00  
◎コアタイム 3月27日(土)17:58【日没】 ~ 3月28日(日)5:34【日の出】  
※コアタイムは全体の開催時間中でメインとなるインスタレーションやイベントが集積する時間帯です。
- ◆開催場所 : 六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館、サントリー美術館、森美術館、21\_21 DESIGN SIGHT、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
- ◆入 場 料 : 無料 (但し、一部の美術館企画展およびプログラムは有料)
- ◆主 催 : 東京都、東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21\_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合】(五十音順)
- ◆特別顧問 : 安藤忠雄、森佳子
- ◆公式ウェブサイト : <http://www.roppongiartnight.com>
- ◆一般問い合わせ先 : 03-5777-8600(ハローダイヤル)  
営業時間: 年中無休 8:00~22:00

## <本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

六本木アートナイト実行委員会 プロモーション・PR 事務局  
株式会社サニーサイドアップ 担当: 持田、山下、原澤  
TEL:03-6894-3200 FAX:03-5413-3050 Email:r-artnight@ssu.co.jp

## <東京文化発信プロジェクトに関するお問い合わせ先>

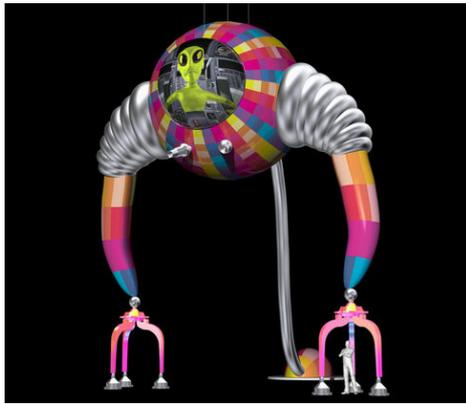
東京文化発信プロジェクト室事業推進課 担当: 宮永、大石  
TEL:03-5638-8800 FAX:03-5638-8811 Email:info@bh-project.jp

## 六本木広域プログラム

「六本木アートナイト 2010」のテーマ『街の見る夢』をベースに、舞台となる六本木の街なか広域にわたる大型アート・イベントで、各エリアを繋ぎます。六本木の街を非日常空間へと作り上げるプログラムです。

### 「ビフォア・フラワー/Before Flower(仮)」 つばき のぼる 椿昇

社会問題をテーマに人間の知性や感性を刺激する作品を発表し続けている椿氏が、今回のために新作、「Before Flower」を発表します。「Before Flower」とは裸子植物を意味します。花をつける被子植物の影で敗者と捉えられてきた裸子植物は、実は地上に大量の酸素を供給してくれたパイオニアであったこと、その結果、昆虫に始まる複雑で多様性に満ちた世界を創造する原動力になってくれたことへのプレゼントとしてこの作品は生まれました。来場者の発する二酸化炭素に反応して様々な画面に映像が変化します。酸素や二酸化炭素、そして胞子をモチーフにしたバルーンも参加し、物語は展開します。



椿昇  
新作《ビフォア・フラワー》イメージ

#### 椿昇 プロフィール

1953年京都市生まれ。京都市立芸術大学美術専攻課修了。93年のベネチア・ビエンナーレに出品。2001年の横浜トリエンナーレでは、巨大なバットのバルーン「インセクト・ワールド〜飛蝗(バット)」を発表。09年、京都国立近代美術館で個展「椿昇 2004-2009:GOLD/WHITE/BLACK」を開催。現在、京都造形芸術大学空間演出デザイン学科教授。

### 「ハーバートの夢/Rêve d'Herbert」 カンパニー・デ・キダム(フランス)

ストリートパフォーマンス集団「カンパニー・デ・キダム」によって演じられる、約60分間の幻想的なショーです。今回の演目『ハーバートの夢』は1997年に製作されて以降、世界中で約400回上演されている、彼らの代表的パフォーマンスです。

誰かを待っているかのような細長い人間に似た姿の白い影達が、光を求め闇夜を歩いて行きます。彼らは静寂の中をゆったりとしたジェスチャーで、お互いに歩み寄りたり離れたりしながら奇妙な無言の会話を始め、観客についてくるよう誘いかけます…。まるで夢の中にもいるかのような世界を生み出します。



カンパニー・デ・キダム 《ハーバートの夢》  
© cie des Quidams

#### カンパニー・デ・キダム(Compagnie des Quidams) プロフィール

2004年にジャン＝バチスト・デュペレによって主宰された、ストリートパフォーマンス集団。以来、野外劇やストリートパフォーマンスの作品をフランス国内外で発表・披露し続けている。

## 六本木あちこちプロジェクト(仮)

街のあちこちがアート作品の舞台です。「おや、こんなところにも!？」ストリートに溶け込んだ数々のアートを発見しながら、六本木を歩いてみましょう。街と人とをアートで結ぶアーティスト達が、来場者を夢の世界へと誘います。

<参加予定作家>

### ◆浅野 耕平

野良猫と遊ぶのは好きですか? 擦り寄ってきてくれたら、嬉しいですね。そんな猫達と、モニターを通じてコミュニケーションしながら街歩きを楽しめる浅野氏の作品《六本木の猫道》を、六本木の街角に展開します。インタラクティブな作品を通して、猫達が街じゅうつに小さな幸せを撒いていきます。



浅野耕平 《幸せはここにある/Happiness Is There》2006

#### 浅野 耕平 プロフィール

1974 年東京生まれ。東京工芸大学芸術学部映像学科卒業。同大学院芸術学研究科メディアアート専攻修了。インタラクティブなアートを通し人と人がかかわり合う場やきっかけを作ることを目指す。東京工芸大学芸術学部メディアアート表現学科助教。

### ◆藤 浩志

藤氏が考案したおもちゃの物々交換プログラム「かえっこバザール」。そこで長年の間に集まったおもちゃが、恐竜や動物などへ姿を変え、アート作品として様々な場所に出現します。一度子供達の手を離れた無数のおもちゃは、ふたたび息を吹き返し、街を華やかに彩ってくれます。



藤浩志 《トイ・ザウルス/Toysaurs》2009  
展示風景:水都大阪 2009



藤浩志 《ハッピー・タワー/Happy Tower》2007

#### 藤 浩志 プロフィール

1960 年鹿児島生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了後、パプアニューギニア国立芸術学校講師、都市計画事務所勤務を経て藤浩志企画制作室を設立。「対話」と「地域実験」を重ねる手法で、様々な空間を利用した表現を創作するアーティストである。藤浩志企画制作室代表。

### ◆チェ・ジョンファ(韓国)

韓国を代表する現代アーティスト、チェ氏の作品には、華やかさと驚き、そしてユーモアが詰まっています。ビニール袋やプラスチックごなどのありふれた素材を使いながら、見慣れた風景を一変させるような作品が特徴です。六本木の街なかにもアートの花を咲かせてくれます。



チェ・ジョンファ 《フラワー・パラダイス/Flower Paradise》2003



チェ・ジョンファ 《カラフル・バスケット/Colourful Basket》2009

#### チェ・ジョンファ プロフィール

1961 年ソウル(韓国)生まれ。弘益大学西洋画専攻卒業。韓国の伝統的で鮮やかな色彩と、大衆的でキッチュな形と素材に着目した、スケール感のある作品を制作する。現在はアーティストとしてだけでなく、アート・ディレクター、インテリア・デザイナーとしても国際的に活躍している。ソウル在住。

※図版はすべて過去の作品であり、参加作品とは異なる場合があります。

# 六本木ヒルズプログラム

六本木ヒルズ内の各所に一夜限りの非日常的な世界が現われます。国内外の注目アーティストが集結。音や光、映像も含めた多様なインスタレーションやイベントで、アートナイトを盛り上げます。

## <プログラム展開予定会場>



## <六本木アートナイト 2010 参加予定作家(一部)>



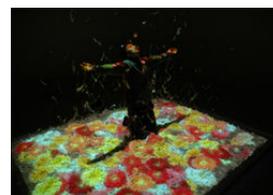
クリス・オシェイ  
《Hand from Above》2009



市川 武史  
《オーロラ'09/aurora'09》2009



チェ・ジョンファ  
《ロータス/Lotus》2007



浅野 耕平  
《ガーデン/Garden》2005  
企画・制作:浅野耕平  
サウンドデザイン:松浦康介

※図版はすべて過去の作品であり、参加作品とは異なる場合があります。

### ◆東京シティビュー(展望台)のオールナイト開館

- 3月27日(土)10:00~28日(日)6:00まで開館時間延長
- 3月27日(土)24:00~28日(日)6:00までの時間帯に限り入館料500円  
(森美術館にも入館可能。その他時間帯は、通常通り一般1,500円)

### ◆ショップ・カフェ・レストランの営業時間延長

### ◆森アーツセンターギャラリー/ミュージアムショップの開館時間延長

《六本木ヒルズ 一般の方からのお問い合わせ先》  
所在地:東京都港区六本木 6-10-1  
TEL:03-6406-6000(インフォメーションセンター)  
<http://www.roppongihills.com>

# 森美術館プログラム

3月27日(土)10:00から翌朝6:00までのオールナイト開館を実施する他、「六本木クロッシング 2010 展:芸術は可能か?」の出演作家によるキュレーターとの対談や、キュレーターによるギャラリートーク、展示室内でのパフォーマンス等を展開予定です。

## <六本木アートナイト 2010 プログラム>

### ◆オールナイト開館

- 3月27日(土)10:00~28日(日)6:00まで開館時間延長
- 3月27日(土)24:00~28日(日)6:00までの時間帯に限り入館料500円  
(東京シティビューにも入館可能。その他時間帯は、通常通り一般1,500円)

### ◆クロストーク 2010

本プログラムでは、アートが社会に果たす役割について議論し、日本のアートの今を考えます。第1部では、展覧会の企画を担当した3人のキュレーターが展覧会のコンセプト、アーティストの選定経緯、展示作品をそれぞれ紹介するとともに、日本のアートの動向のなかでの「芸術の可能性」を問います。第2部では、展覧会出品作品のダムタイプ《S/N》の出演者であるブブ・ド・ラ・マドレーヌ氏とダムタイプの作品評論の第一人者である浅田彰氏を招き、作品について語り合います。明日に挑む日本のアートを語るまたとないこの機会をお見逃しなく。

- 出演:浅田彰(京都造形芸術大学大学院長)、木ノ下智恵子(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師)、窪田研二(インディペンデント・キュレーター)、ブブ・ド・ラ・マドレーヌ(現代美術作家)、近藤健一(森美術館アソシエイト・キュレーター)
- 日時:3月27日(土)14:00~17:00
- 会場:アカデミーヒルズ 40 キャラント B(六本木ヒルズ森タワー40階)
- 主催:森美術館、アカデミーヒルズ
- 定員:250名(要予約)
- 料金:一般1,000円、学生・MAMCメンバー500円
- お申込み:森美術館ウェブサイト ※日英・手話同時通訳付

### ◆パフォーマンス

- 3月27日(土) 鈴木ヒラク、Shing02、宇治野宗輝、コンタクトゴンゾらによるパフォーマンスを実施

### ◆キュレーターによるギャラリートーク

- 森美術館展示室にて開催予定
- ※このほかにも様々なプログラムを計画中です。

## <開催中展覧会>

### ◆「六本木クロッシング 2010 展:芸術は可能か?」

「六本木クロッシング展」は、今最も注目すべき日本のアーティストやクリエイターを紹介する、森美術館ならではのシリーズ展で、3年に1回開催しています。

第3回目となる本展では約20組が参加し、写真、彫刻、インスタレーション、映像作品、グラフィティ・アート、パフォーマンスなどを紹介します。

- 3月20日(土)~7月4日(日)まで開催
- 開館時間: 10:00~22:00(火曜のみ 10:00~17:00)  
※いずれも最終入館は閉館の30分前まで
- 入館料: 一般1,500円
- 参加予定アーティスト:  
相川勝、青山悟、雨宮庸介、宇治野宗輝、加藤翼、小金沢健人、コンタクトゴンゾ、志賀理江子、鈴木ヒラク、高嶺格、ダムタイプ、Chim ↑ Pom、照屋勇賢、森村泰昌、八幡亜樹、横溝静、米田知子、ログズギャラリー、ほか

- キュレーター:  
木ノ下智恵子(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師)  
窪田研二(インディペンデントキュレーター)  
近藤健一(森美術館アソシエイト・キュレーター)



照屋勇賢  
《告知-森》2005  
ソロモン・R・グッゲンハイム美術館、ニューヨーク



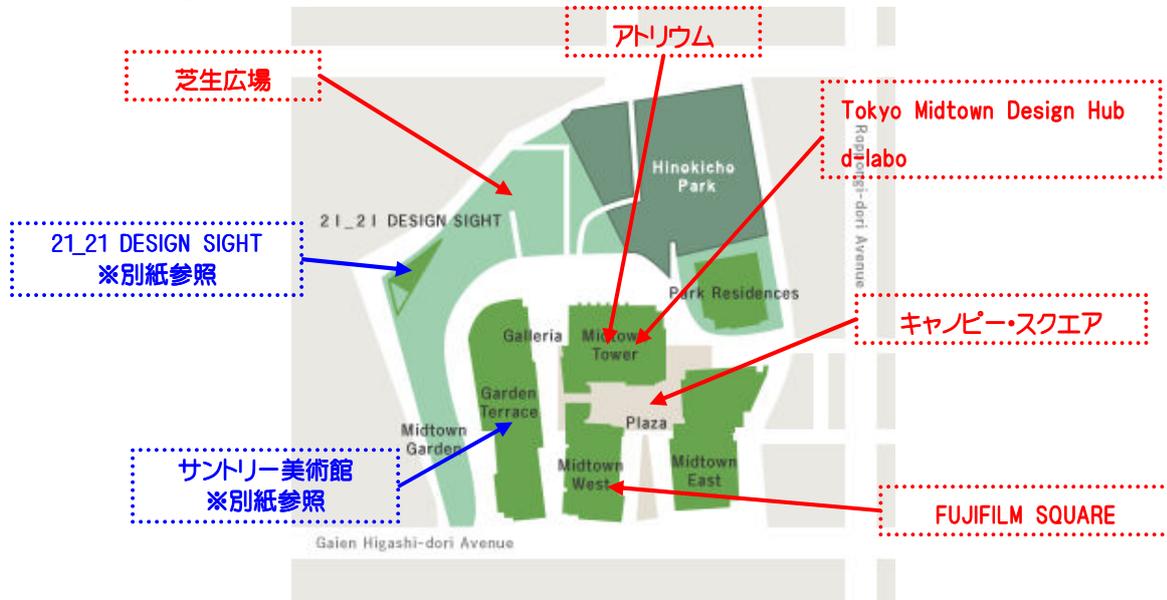
コンタクトゴンゾ  
パフォーマンス風景:  
「踊りに行くぜ! vol.9 in 別府市中心市街地」  
大分  
Photo:Toda Yoichi

《森美術館 一般の方からのお問い合わせ先》  
所在地:東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズタワー 53階  
TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル)  
<http://www.mori.art.museum>

# 東京ミッドタウンプログラム

2010年春に3周年を迎える東京ミッドタウン。玄関口プラザエリアに幻想的な映像アートの空間が出現するほか、サントリー美術館や21\_21 DESIGN SIGHTはもちろん、その他デザイン関連施設でも様々なプログラムを展開。東京ミッドタウンならではの厳選されたプログラムをお楽しみいただけます。

## <プログラム展開予定会場>



## <六本木アートナイト 2010 プログラム>

### ◆「ROOFSCAPE」

東京ミッドタウンの玄関口、プラザ 1F のキャンピー・スクエアに幻想的な映像アートの空間が出現。世界で活躍する映像制作集団「WOW」が創造する新たな映像表現の世界を堪能いただけます。※このほかにも様々なプログラムを計画中です。



「ROOFSCAPE」イメージ画像



WOW 作品例《Light Rain》2007  
宮城県立美術館

### ◆「六本木アートナイト 2010」参加 施設内ギャラリー

- d-labo TEL:03-5411-2363
- Tokyo Midtown Design Hub TEL:03-6743-3776
- FUJIFILM SQUARE TEL:03-6271-3350

### ◆ショップ・カフェ・レストランの営業時間延長

《東京ミッドタウン 一般の方からのお問い合わせ先》  
所在地:東京都港区赤坂 9-7-1 ほか  
TEL:03-3475-3100(東京ミッドタウン・コールセンター)  
<http://www.tokyo-midtown.com>

# 国立新美術館プログラム

3月27日(土)は22:00まで開館時間を延長する他、「アーティスト・ファイル 2010—現代の作家たち」展出品作家によるアーティスト・トークや屋外展示、ロビーでのパフォーマンスイベントやアートアニメーションの上映なども予定しています。

## <六本木アートナイト 2010 プログラム>

### ◆3月27日(土)に限り、22時まで開館時間を延長

### ◆「アーティスト・ファイル 2010—現代の作家たち」 3月27日(土)に限り、観覧無料

- 出品作家によるアーティスト・トーク 3月27日(土)19:00~20:30 開催予定
- 出品作家の南野馨氏による立体作品の屋外展示。3月27日(土)22:00閉館後も観覧可能

### ◆スペシャルパフォーマンス

- 3月27日(土)18:00~18:30 アトリウムにて実施予定。予約不要、観覧無料
- 出演:康本雅子(ダンサー・振付家)、オオルタイチ(音楽家)



康本雅子  
(撮影:横田徹)



オオルタイチ

### ◆「TOKYO ANIMA! —BOOT UP」

- 30名の若手映像作家によるアートアニメーションの上映やシンポジウムを開催
- 30名の若手映像作家の近作・新作を3つのプログラムに構成し、2日間に渡り講堂にて上映
- アートアニメーションの『これまで』と『これから』を考えるシンポジウムを、3月27日(土)16:30~18:00(予定)講堂にて開催



「TOKYO ANIMA! —BOOT UP」上映予定作品  
近藤聡乃《てんとう虫のおとむらい》2006

### ◆3月27日(土)に限り、ミュージアムショップ、カフェ、レストラン 22:00まで営業時間延長

- 上記施設(ミュージアムショップ、レストラン)利用者への記念品プレゼント 等

## <開催中展覧会>

### ◆「アーティスト・ファイル 2010—現代の作家たち」 (主催:国立新美術館)

国立新美術館が国内外でいま最も注目すべき活動を展開している作家たちを選抜し、紹介するアニュアル形式の展覧会で、第3回目となる今回は、7名の現代作家を取りあげます。

福田尚代、石田尚志、桑久保徹、アーノウト・ミック、南野馨、O JUN、斎藤ちさとら7名の個展を、ファイルを次々と手に取るように巡りながら、それぞれの「現代」をお楽しみください。

- 3月3日(水)~5月5日(水・祝)まで、2階企画展示室 2Eにて開催
- 観覧料: 一般 1,000円



O JUN 《3m》2006-2007年  
顔料、岩絵具、グアッシュ/紙  
撮影:山田新治郎

©O JUN Courtesy Mizuma Art Gallery

### ◆「ルノワール—伝統と革新」 (主催:国立新美術館、読売新聞社、日本テレビ放送網)

「幸福の画家」として世界中で愛されるフランス印象派の巨匠ピエール＝オーギュスト・ルノワール(1841-1919)は、絵画の伝統を踏まえながらも常に新たな表現を模索し続け、近代絵画史に大きな足跡を残した偉大な革新者でもありました。国内外の主要コレクションから集めた約77点の作品を通して画業の全容を展覧するとともに、最新の光学調査をもとに画家ルノワールの技法を解明し、ルノワールの絵画の新たな魅力に迫ります。

- 1月20日(水)~4月5日(月)まで、1階企画展示室 1Eにて開催
- 観覧料: 一般 1,500円、大学生 1,200円、高校生 800円(すべて当日券料金)  
※前売券、団体料金(20名以上)設定あり



オーギュスト・ルノワール  
《ブー・ヴァルのダンス》  
1883年、ボストン美術館

Picture Fund, 37.375. Photograph  
©2009 Museum of Fine Arts, Boston

《国立新美術館 一般の方からのお問い合わせ先》

所在地:東京都港区六本木 7-22-2

TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル)

<http://www.nact.jp/>

# サントリー美術館プログラム

3月27日(土)は22:00まで開館時間を延長する他、開催中の「和ガラス 一粋なうつわ、遊びのかたち」展をより深く楽しめるトークや、通常非公開の茶室「玄鳥庵」にて、「宵の点茶席」も実施いたします。

## <六本木アートナイト 2010 プログラム>

### ◆3月27日(土)に限り、22時まで開館延長

#### ◆館内レクチャー@風鈴の森(仮)

○担当学芸員による館内レクチャー

○3月27日(土) 20:00~20:30 会場:展示室(吹抜けスペース)

#### ◆フレンドリートーク

こどもから大人まで楽しめるやさしいスライドレクチャー

○3月27日(土) 16:00~16:30、18:00~18:30の計2回開催 会場:6F ホール

#### ◆宵の点茶席(仮)

和ガラス展にちなみガラスの茶器で薄茶と季節のお菓子(主菓子)をどうぞ。1961年の美術館創立当初から現在まで引き継がれた茶室にて、ごゆっくりとおくつろぎください。

○3月27日(土) 17:00~20:00 ※点前もごさいます ※有料(1,000円)、定員あり

#### ◆「アートナイトセール」開催

○ショップにて、一部グッズを特別価格で販売する「アートナイトセール」開催

#### ◆カフェ(cafe produced by 加賀麩 不室屋)にて、特別メニューをご用意

## <開催中展覧会>

### ◆「和ガラス 一粋なうつわ、遊びのかたち」

本格的にガラスの器づくりが始まったのは、江戸中期のこと。飲食器、櫛・簪や文具などは、時におしゃれの代名詞となり、時に数奇者の的となりました。本展は、江戸から明治にかけて生活に浸透した、「和ガラス」の美をご覧ください。

また、日本で2軒だけになってしまった江戸風鈴によるインスタレーションも展開します。

<http://www.suntory.co.jp/news/2009/10629.html>

○3月27日(土)~5月23日(日)開催

○開館時間: 日・月・祝 10:00~18:00、水~土曜日 10:00~20:00

※いずれも最終入館は閉館の30分前まで

※ただし、5月2日(日)~4日(火・祝)は20:00まで開館

○入館料: 一般 1,300円、大学・高校生 1,000円、中学生以下無料



《藍色ちろり》  
江戸後期



《切子文具揃》  
江戸時代~明治前期

※写真はすべてサントリー美術館蔵

《サントリー美術館 一般の方からのお問い合わせ先》  
所在地:東京都港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3階  
TEL:03-3479-8600  
<http://suntory.jp/SMA/>

# 21\_21 DESIGN SIGHT プログラム

3月27日(土)11:00から翌朝5:00までのオールナイト開館を実施する他、開催中の特別展「クリストとジャンヌ＝クロード展 LIFE=WORKS=PROJECTS」では、特別ゲストを迎えたギャラリーツアーや上映会を実施予定です。

## <六本木アートナイト 2010 プログラム>

### ◆オールナイト開館

○3月27日(土)11:00～3月28日(日)5:00まで開館時間延長(最終入館は4:30)

### ◆柳 正彦(展覧会ディレクター)によるギャラリーツアー

展覧会ディレクターの柳 正彦をゲストに迎えて行うギャラリーツアー。クリストとジャンヌ＝クロードのプロジェクトに25年間携わってきた柳 正彦による二人のエピソードや質疑応答を含めた充実の内容です。

○3月27日(土) 18:30～19:30 実施予定



《包まれたライヒスターク、ベルリン、1971-95》



《包まれた島々、フロリダ州グレート・マイアミ、1980-83》

写真:ウルフガング・フォルツ

### ◆特別上映会「The Gates」 柳 正彦による解説とQ&A

2005年2月、ニューヨークのセントラル・パークの風景を一変させた代表作「The Gates」。26年間の交渉の末ついに実現したプロジェクトの、日本初公開となるドキュメンタリー映画を上映します。クリストとジャンヌ＝クロードと25年間仕事をともにし、本展のディレクションを手がけた柳 正彦の解説とともにご覧いただけます。

○3月27日(土)20:30～22:30 実施予定。事前予約制・先着順  
ご予約・詳細は21\_21 DESIGN SIGHT ウェブサイトをご覧ください。

※上記両イベントとも、

会 場: 21\_21 DESIGN SIGHT

参加費: 無料(ただし、当日の入場券が必要です)



《ゲート、ニューヨーク市セントラル・パークのプロジェクト》  
ドローイング 2005

## <開催中展覧会>

### ◆「クリストとジャンヌ＝クロード展 LIFE=WORKS=PROJECTS」 (主催:21\_21 DESIGN SIGHT、財団法人 三宅一生活デザイン文化財団)

現代作家のクリストとジャンヌ＝クロードの活動の軌跡を表すドローイング作品や写真、ドキュメンタリー映画など約80点から、壮大なプロジェクトを現実のものとしていくプロセス、さらにはその根底に宿る美しさへの情熱に目を向けます。本展を通して、驚きと感動に満ちた二人の「LIFE=WORKS=PROJECTS」に触れられる機会をつくります。

○2月13日(土)～4月6日(火)開催 火曜休館(4月6日は開館)

○開館時間: 11:00～20:00(入館は19:30まで)

○入 場 料: 一般1,000円、大学生800円、中高生500円、小学生以下無料



《ゲート、ニューヨーク市セントラル・パーク、1979-2005》  
でのクリストとジャンヌ＝クロード(2005年2月)

写真:ウルフガング・フォルツ

《21\_21 DESIGN SIGHT 一般の方からのお問い合わせ先》

所在地:東京都港区赤坂 9-7-6 東京ミッドタウン・ガーデン内

TEL:03-3475-2121

<http://www.2121designsight.jp>

# 六本木商店街プログラム

## <六本木アートナイト 2010 プログラム>

### ◆六本木デザイナーズフラッグコンテスト

六本木の街路灯に1枚1枚デザインの異なるフラッグが掲出され、街を華やかに彩ります。若手デザイナーの支援イベントとして、そしてアート・デザインの街として六本木を盛り上げるべく、第2回「六本木デザイナーズフラッグコンテスト」を開催。今回のテーマは「グリーン」。今回も日本グラフィックデザイナー協会の協力を得て、入選作品を1月に選考。入選作品は、2010年(平成22年)3月25日~4月25日の1カ月間掲出予定です。

#### <審査委員>



長友 啓典  
(NAGATOMO Keisuke)



葛西 薫  
(KASAI Kaoru)



廣村 正彰  
(HIROMURA Masaaki)



2009年実施の様様

### ◆六本木フォトコンテスト

日々、発展しながら新たな表情を見せる六本木。今ではアートやデザインが誕生し、発信される場所としても注目されています。

そんな六本木の素顔を写真に残すべく、第2回「六本木フォトコンテスト」を開催。六本木の自然や文化、祭りやイベント風景、六本木に生きる人々の表情や温もりが感じられる写真を広く募集します。

審査委員長は、今年も写真家の立木義浩氏に決定し、入選作品は2月末に決定予定です。

#### <審査委員長>

立木 義浩(TATSUKI Yoshihiro)  
1937年、徳島生まれ。58年、東京写真短期大学  
(現・東京工芸大学)卒業。  
アドセンター設立時にカメラマンとして参加。  
69年、フリーランスとなり、女性写真の分野で多くの作品を発表する一方、広告・雑誌・出版などの幅広い分野で活動を展開中。



メインビジュアル

### ◆参加店舗の終夜営業や営業時間の延長、スペシャルメニューを展開予定

上記メインプログラム、エリアプログラムのほかに、六本木エリアの施設やアートギャラリー、店舗が特別参加し、「六本木アートナイト 2010」開催期間中のスペシャルプログラムやスペシャルサービス等を実施予定です。六本木の街全体で「アートナイト」を体感していただけます。

《六本木商店街振興組合 一般の方からのお問い合わせ先》

所在地:東京都港区六本木 5-5-1 六本木ロアビル 607号

TEL:03-3401-9451

<http://www.ractive-roppongi.com>